



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社市進ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4645 URL <http://ir.ichishin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福住 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括本部本部長 (氏名) 尾和 保弘 (TEL) 047-335-2840
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,966	5.0	△235	—	△316	—	△222	—
2024年2月期第1四半期	3,778	3.1	△235	—	△316	—	△165	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 △236百万円(—%) 2024年2月期第1四半期 △155百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	△22.37	—
2024年2月期第1四半期	△16.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	12,571	2,399	18.8
2024年2月期	13,009	2,735	20.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 2,361百万円 2024年2月期 2,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,359	2.3	971	3.2	765	0.5	365	0.5	36.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	10,604,888株	2024年2月期	10,604,888株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	650,693株	2024年2月期	650,693株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	9,954,195株	2024年2月期1Q	9,933,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会活動の正常化に伴う人流の回復や雇用・所得環境の改善などにより個人消費が持ち直したことを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、為替相場の変動や原材料価格の高騰、物価上昇による消費マインドの悪化懸念や採用難による人手不足の深刻化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは「一生涯を通じた幅広い『学び』の機会を提供することで、ともに人間力を高め、笑顔あふれる社会を実現する」をグループの基本理念としております。学びの場、生活支援の場を通じて、より良いサービスの提供に努めることで、豊かな人生、笑顔あふれる社会の実現を目指し、すべてのステークホルダーの皆さまへ貢献できるよう、継続企業（Going Concern）として永続的な発展を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、グループ全体の売上高は前年同期に比べプラスで推移いたしました。経費面におきましては、物価高が長期化している中、引き続き、人材の適正配置、賃借面積の適正化、業務効率化など、さらなる利益率改善に努めております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は3,966百万円（前年同四半期比105.0%）、営業損失は235百万円（前年同四半期営業損失235百万円）、子会社株式取得関連費用42百万円の計上などにより、経常損失は316百万円（前年同四半期経常損失316百万円）、法人税等調整額の減少などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は222百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円）となっております。

なお、当社グループの四半期実績の特徴といたしまして、教育サービス事業における第1四半期には収益の基礎となる在籍生徒数が最も少ない期間であること、また、夏期講習や冬期講習といった収益に大きく寄与するイベントが実施されない期間であることから、売上高が他の四半期と比較して少なくなります。その一方で、教室の賃借料や人件費などの固定的費用や広告宣伝費などの先行投資的費用は期首から発生することから、季節的な収益変動要因が生じることとなります。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<教育サービス事業>

教育サービス業界におきましては、様々な教育制度改革が進行し、大きな変革の時期を迎えております。当第1四半期連結累計期間における学習塾部門では、茨進において、3月から茨城県つくば市で万博記念公園校を開校し、さらに市進学院において、夏期講習での本格開校に向け、千葉県流山市で流山セントラルパーク教室の開校準備を進めております。両校ともつくばエクスプレス沿線にあり、発展著しいこの地域でのさらなるドミナント強化に努めております。また、いわゆる小学校700語問題をはじめ、中学校卒業までに2,500語の英単語の習得が必要となる中、英検対策もカバーした英単語教材の全面的な刷新を行うなど、新学習指導要領に対応した英語教育の充実・強化を引き続き推進しております。

教育サービス事業全体の売上高は、在籍生徒数が予算に対して順調に推移した結果、前年同期比プラスとなっております。また、経費面においては、前述の教材作成など必要な投資を行いつつ、引き続き費用統制に取り組み経費節減を実行できております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は売上高3,247百万円（前年同四半期比102.1%）、セグメント損失（営業損失）297百万円（前年同期はセグメント損失298百万円）となりました。

<介護福祉サービス事業>

介護福祉サービス業界におきましては、高齢化により今後介護サービスの需要は益々高まることが見込まれる一方で、人材確保や新たな介護報酬制度への適切な対応が重要課題となっております。当第1四半期連結累計期間におきましては、株式会社ライブコアサポート（茨城県ひたちなか市）が当社グループに新たに加入しました。同社は、要介護高齢者の心身機能の向上、社会的孤立感の解消、ご家族の負担軽減を目的とし、有料老人ホーム、デイサービスなど計4拠点を運営しております。同社のグループ加入により、介護福祉サービス事業の運営会社は合計8社となりました。引き続き当社グループ内での連携を強化するとともに、各社でのサービス向上に努めてまいります。なお、費用面におきましては、職員の待遇改善や人材採用費など、将来を見据えた人材確保のための投資により前年同期比で増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は売上高718百万円（前年同四半期比120.3%）、セグメント利益（営業利益）61百万円（前年同四半期比97.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は12,571百万円(前連結会計年度比96.6%)となりました。主な要因は現金及び預金の減少などによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は10,172百万円(前連結会計年度比99.0%)となりました。主な要因は未払金及び未払費用の減少などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,399百万円(前連結会計年度比87.7%)となりました。主な要因は利益剰余金の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月9日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。また、本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,282,696	3,288,280
受取手形、売掛金及び契約資産	857,584	966,286
商品及び製品	217,630	147,279
原材料及び貯蔵品	8,175	8,622
その他	842,078	877,659
貸倒引当金	△20,516	△14,257
流動資産合計	6,187,646	5,273,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,421,172	1,600,273
土地	662,482	662,482
リース資産（純額）	560,755	586,003
その他（純額）	120,724	151,103
有形固定資産合計	2,765,135	2,999,863
無形固定資産		
のれん	253,920	325,803
映像授業コンテンツ	192,058	193,053
その他	212,779	192,039
無形固定資産合計	658,759	710,896
投資その他の資産		
投資有価証券	649,314	677,205
敷金及び保証金	1,697,376	1,705,963
その他	1,051,307	1,204,013
投資その他の資産合計	3,397,998	3,587,183
固定資産合計	6,821,892	7,297,943
資産合計	13,009,539	12,571,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,998	10,351
短期借入金	-	3,426
1年内返済予定の長期借入金	968,899	962,052
未払金及び未払費用	1,414,690	1,203,960
未払法人税等	77,270	28,041
契約負債	420,240	614,818
賞与引当金	258,792	143,047
その他	371,323	413,027
流動負債合計	3,520,214	3,378,724
固定負債		
長期借入金	4,647,857	4,611,907
リース債務	502,225	519,775
退職給付に係る負債	1,190,692	1,209,481
資産除去債務	229,230	280,797
その他	183,378	171,385
固定負債合計	6,753,383	6,793,346
負債合計	10,273,598	10,172,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,237	1,476,237
資本剰余金	1,244,427	1,244,427
利益剰余金	△35,643	△357,839
自己株式	△255,444	△255,444
株主資本合計	2,429,576	2,107,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,056	254,340
繰延ヘッジ損益	△1,302	666
為替換算調整勘定	△12,823	△14,061
退職給付に係る調整累計額	11,724	13,295
その他の包括利益累計額合計	269,655	254,240
非支配株主持分	36,709	38,121
純資産合計	2,735,941	2,399,743
負債純資産合計	13,009,539	12,571,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	3,778,322	3,966,524
売上原価	3,496,351	3,676,004
売上総利益	281,970	290,519
販売費及び一般管理費	517,375	526,519
営業損失(△)	△235,404	△235,999
営業外収益		
受取利息	2,921	3,344
受取配当金	200	200
為替差益	1,472	2,394
雑収入	5,988	3,602
営業外収益合計	10,582	9,540
営業外費用		
支払利息	26,040	26,114
持分法による投資損失	18,878	2,216
子会社株式取得関連費用	26,498	42,568
控除対象外消費税等	13,176	9,711
雑損失	7,496	9,303
営業外費用合計	92,091	89,914
経常損失(△)	△316,914	△316,373
特別利益		
固定資産売却益	166	-
原状回復費戻入益	-	9,683
賃貸借契約解約損戻入益	-	3,255
その他	60	560
特別利益合計	226	13,498
特別損失		
固定資産除却損	4,136	2,513
特別損失合計	4,136	2,513
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,823	△305,388
法人税、住民税及び事業税	34,041	26,912
法人税等調整額	△190,214	△111,059
法人税等合計	△156,172	△84,147
四半期純損失(△)	△164,651	△221,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,251	1,412
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△165,902	△222,653

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純損失(△)	△164,651	△221,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,757	△17,716
繰延ヘッジ損益	1,370	1,969
為替換算調整勘定	△800	△1,238
退職給付に係る調整額	971	1,571
その他の包括利益合計	9,298	△15,414
四半期包括利益	△155,353	△236,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△156,604	△238,068
非支配株主に係る四半期包括利益	1,251	1,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	教育サービス	介護福祉 サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	3,180,544	597,777	3,778,322	—	3,778,322
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,180,544	597,777	3,778,322	—	3,778,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,502	—	20,502	△20,502	—
計	3,201,046	597,777	3,798,824	△20,502	3,778,322
セグメント利益又は損失(△)	△298,647	63,242	△235,404	—	△235,404

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	教育サービス	介護福祉 サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	3,247,564	718,960	3,966,524	—	3,966,524
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,247,564	718,960	3,966,524	—	3,966,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,864	—	24,864	△24,864	—
計	3,272,428	718,960	3,991,388	△24,864	3,966,524
セグメント利益又は損失(△)	△297,863	61,863	△235,999	—	△235,999

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ライブコアサポート株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「介護福祉サービス」のセグメント資産が471,040千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ライブコアサポートを連結子会社化したことに伴い、「介護福祉サービス事業」においてのれんが発生しております。当該事象によるのれん増加額は、86,719千円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。